

相談支援に携わる支援者の皆様へ

足利市特別支援連携協議会

足利市特別支援連携協議会は、発達障害等のある人やその家族が、乳幼児期から学童期、そして成人期へと成長し、自立していく過程の中で、様々な関係機関と相談したり支援を受けたりしながら、一人一人が豊かな生活を送れることを願って、平成20年に発足しました。

足利市特別支援連携協議会では、発達障害等のある人々に関わる、保健、医療、福祉、教育、労働などの様々な関係機関が、ライフステージを見通したスムーズな連携を図っていく必要があり、それぞれの機関で得た支援の内容や方法、当事者や家族の思いなどを大切につないでいくことで、よりよい相談支援体制を構築していきたいと考えております。

そのためには、シートや手帳による相談支援を行っていくことで、保護者が主体的に情報の整理や記録を積み重ねていくことができ、過去を振り返りながら現在または将来の支援体制に役立てることができると考えました。シートや手帳等の内容は、保護者との共通理解のもとに、できる限り本人の特性を理解し、適切な支援を継続するために情報をつないでいくことをねらって作成しました。(尚、個人情報の保護についてはくれぐれもご注意頂き、プライバシーの侵害にならぬよう慎重に取り扱うことをお願いいたします。)

このようなシートや手帳が有効に活用され、豊かな支援が実現されていくには、地域全体の共通理解と同一歩調がなければなりません。そのため、各関係機関での相談や支援の中心となる方々に、この趣旨をご理解いただくとともに、地域全体の相談支援の流れについて知っていただき、関係する当事者の方々に適切なアドバイスをしていただく事をお願い申し上げます。

各関係機関には『支援コーディネーター』をおいていただき、相談支援の中心となっ
ていただくよう重ねてお願いいたします。

